

2025年度三重大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）入学試験問題
試験科目 [社会人特別入試・小論文]

次の文章は、1921年11月から開催されることになっていたワシントン会議を念頭において、当時東洋経済新報社のジャーナリストであった石橋湛山が1921年7月から8月にかけて雑誌『東洋経済新報』に連載した「社説」の冒頭部分である。これを読んで、下の問い（問1および問2）に答えよ。

著作権の関係上、公開しない。

著作権の関係上、公開しない。

著作権の関係上、公開しない。

著作権の関係上、公開しない。

著作権の関係上、公開しない。

松尾尊兌編『石橋湛山評論集』岩波書店（1984年）101～108頁

- 問1 下線部の「幻想」について著者はどのように説明しているか、600字程度で述べよ。
- 問2 著者の主張を現代的な観点から400字以上600字以内で論評せよ。